

○ 令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1 定時社員総会及び通常理事会

(1) 定時社員総会：令和3年5月25日1030-1142 於 ワークピア横浜

① 議案

- ・令和2年度事業報告及び計算書類の承認について
- ・長期借入金の承認について
- ・役員を選任について

② 報告・連絡事項

- ・令和3年度事業計画及び収支予算の報告について

③ 議決権等

- ・出席会員/49名 ・委任状提出者/59名 ・議決権行使書提出者/65名
承認合計 173名

④ 出席役員等

- ・理事/16名 ・監事/2名 ・顧問等/2名

⑤ 結果

各議案についてすべて承認された。

(2) 第1回理事会：令和3年5月25日1143-1151 於 ワークピア横浜

① 議案

- ・令和3年度理事長等の選任について

② 出席役員等

- ・理事/21名 ・監事/2名 ・顧問等/2名

③ 結果

議案については承認された

(3) 第2回理事会：令和4年3月15日1400-1454 於 ワークピア横浜

① 議案

- ・令和4年度事業計画（案）について
- ・令和4年度収支予算（案）について
- ・令和4年度定時社員総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定について

② 報告連絡事項

- ・令和3年度の会長、理事長及び専務理事の職務の執行状況についてなど3件

③ 出席役員等

- ・理事/20名 ・監事/2名 ・顧問等/1名

④ 結果

各議案について全て承認された

2 みなし理事会

(1) 令和3年4月28日承認

議案

- ・令和2年度事業報告及び計算書類の承認について
- ・役員を選任について

- ・長期借入金の承認について
 - ・新規会員の入会について
- (2) 令和3年6月24日承認
議案
- ・令和3年度東京地域連絡会支部長の委嘱について

3 調査研究事業（公益目的事業1）

令和3年度については、国、地方公共団体及び企業から、次の4件の委託を受けて委員会を設置するなどして所要の調査及び検討を行った。

なお、委員会については、新型コロナウイルス感染症予防対策としてWeb会議等を取り入れて開催した。

- ① 東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル船舶航行安全対策検討業務（委員会2回実施、第1回目：Web会議併用、第2回目：書面会義、シミュレーション1回実施）
- ② 新海面処分場船舶航行安全対策検討調査業務（委員会2回実施、第2回目：Web会議）
- ③ 川崎港臨港道路東扇島水江町線航行安全検討業務（委員会2回実施、第2回目：Web会議）
- ④ 横浜港南本牧ふ頭地区における船舶航行安全検討業務（委員会3回実施、シミュレーション1回実施）

4 海難防止活動事業（公益目的事業2）

(1) 海の安全運動の推進

第三管区海上保安本部及び同本部管内海上保安部署においては、関東及びその周辺海域の海難を防止するため、海事・漁業関係者、マリンレジャー関係者等と協力して官民一体の「海の安全運動」を実施しており、当協会は同運動を推進する「海の安全運動推進連絡会議」の事務局を務め、同運動を展開した。

- ① 令和3年度においては、令和2年度に引き続き、期間と対象を絞って次の5つのキャンペーンを実施した。
 - 「春の事故ゼロキャンペーン」
期間：令和3年4月17日～5月6日
対象：プレジャーボート、各種マリンレジャー
 - 「霧海難ゼロキャンペーン」
期間：令和3年5月11日～5月31日
対象：一般船舶（漁船・遊漁船を含む。）
 - 「台風海難ゼロキャンペーン」
期間：令和3年6月10日～6月30日
対象：一般船舶（漁船・遊漁船を含む。）
 - 「夏の事故ゼロキャンペーン」
期間：令和3年7月16日～8月31日
対象：一般船舶及びプレジャーボート、各種マリンレジャー
※7月16日から7月31日は全国的に展開される「海の事故ゼロキャンペーン」の一環として運動を実施した。
 - 「秋の事故ゼロキャンペーン」
期間：令和3年10月1日～10月10日
対象：プレジャーボート及び遊漁船、各種マリンレジャー

- ② 海岸管理者の地方自治体及び警察・消防関係機関に対して地区推進連絡会議への参画を求め、連携した活動を実施するとともに、各種ウォーター・アクティビティに関連した業界、団体に対し研修等を実施した。

(2) 京浜港（横浜区・川崎区）における錨地管理のあり方の検討

京浜港（横浜区・川崎区）には、多くの錨地が設定されているものの、船舶交通の著しい混雑、船舶の大型化・多種多様化、岸壁等の築造、工事・作業等による錨泊可能海域の減少等の海上交通環境の変化とともに、最近の異常気象の影響もあり、荒天時に走錨する船舶が後を絶たず、また、走錨に起因し社会的反響の大きな事故も発生しているところである。

このような状況に鑑み、京浜港（横浜区・川崎区）における錨地をとりまく環境等の変化に対応した錨地管理のあり方について、学識経験者、海事関係者及び関係官庁で構成する検討会を設置して検討することとした。

令和3年度は、令和2年度の京浜港（横浜区・川崎区）における錨地申請情報を分析し、錨地ごとに一年間にわたる時間帯別・季節別の錨地の利用実態を分析し、それらの傾向を把握するとともに、京浜港（横浜区・川崎区）を利用する船長等を対象としてアンケート調査を実施してその結果を分析することにより、京浜港（横浜区・川崎区）における錨地利用の実態及びニーズの把握並びに課題の抽出を行い、より安全で効率的かつ利便性の高い錨地管理のあり方について、今後の検討の方向性を見出した。令和3年度は、検討会を2回（令和3年10月及び令和4年3月）開催した。

令和4年度は、令和3年度の検討結果を踏まえ、錨地に関する整理・再編を含む錨地管理のあり方について、検討会で検討を進めて最終報告書を取りまとめ、第三管区海上保安本部に提言することとしている。

- ※ (1) (2) の事業については、公益財団法人 日本海事センターの補助金を受けて実施した。

5 地域連絡会の開催

令和3年度は地域連絡会議を2回実施した。

(1) 第1回地域連絡会

- ① 神奈川地域連絡会 令和3年7月2日 於 ワークピア横浜
 - ② 東京地域連絡会 令和3年7月8日 於 メルパルク東京
 - ③ 千葉地域連絡会 令和3年7月13日 於 TKPガーデンシティ千葉
- 議題：令和3年度の事業実施概要

関東地方整備局各地域港湾事務所及び各地方公共団体港湾当局

連絡事項：第三管区海上保安本部及び各地域保安部署からの連絡事項

(2) 第2回地域連絡会議

- ① 千葉地域連絡会議 令和4年2月1日 於 TKPガーデンシティ千葉
- ② 神奈川・東京合同地域連絡会 令和4年2月7日 於 ワークピア横浜

講演：「海の今を知るために」

講師：海上保安庁海洋情報部情報利用推進課海洋空間情報室 吉田 剛 室長

連絡事項：「令和3年の海難発生状況（速報値）」（ビデオ動画）

説明者：第三管区海上保安本部交通部安全対策課 牧野 真也 安全対策官

6 航行安全情報管理事業

国及び地方公共団体の委託を受け、東京13号地に東京航行安全情報管理室及び川崎東扇島に川崎航行安全情報管理室を設置し、また、東亜建設工業株式会社と業務委託契約を締結し、当協会職員を新本牧航行安全管理事務所にて勤務させ、工事施工海域の周辺を航行する一般船舶と工事関係船舶の安全を確保し事故防止を図るため、周辺海域の監視、各種情報の収集・整理・提供、一般船舶及び工事関係者に対する助言・指導等を実施した。

7 安全講習会への講師派遣

一般社団法人日本海上起重技術協会からの依頼を受け、令和3年9月3日、安全講習会に講師を派遣した。

8 その他の事業

当協会の会報誌である「海の安全ジャーナルUW」を令和3年6月（夏号）及び令和4年1月（新年号）に発行した。